

## ④4 ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市における 浸水被害軽減に向けた技術協力事業

受賞機関 福岡市 道路下水道局

**キーワード** 国際協力、技術移転、地域の活性化

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

ミャンマー国ヤンゴン市において、JICA草の根技術協力事業を活用し、浸水被害軽減を図るための技術移転を行った取組み。職員派遣及び研修員の受入及び現地研修の実施に精力的に取組み、想定以上の地元技術者を養成し、本事業による浸水対策の目的を達成できた点や、事業実施にあたって、ヤンゴン市の地場企業や本邦企業のビジネス機会を積極的に創出し、地域活性化に配慮した点が評価された。

### 1. はじめに

ミャンマー・ヤンゴン市では雨期に道路冠水や家屋浸水が頻発しており、浸水被害の軽減が喫緊の課題となっている。

本市では、平成26年5月に本市水道局のJICA専門家派遣をきっかけとしてヤンゴン市と締結した「まちづくり協力・支援に関する覚書」に基づき、技術的な交流を深める中で、浸水対策に関する技術協力の強い要望を受けたことから、ヤンゴン市職員の能力向上に取り組むこととなった。

### 2. 事業の概要

本市は、ヤンゴン市の浸水被害軽減に向け、国際協力機構（JICA）の「草の根技術協力事業」の採択を受け、度重なる浸水被害を経験し培ってきた福岡市の浸水対策技術・ノウハウを活用して、平成28年3月より3年間で、ヤンゴン市職員の排水計画策定に関する能力向上を図ることを目的とした「ヤンゴン市道路排水能力改善事業」を実施した。

事業の中では、福岡市道路下水道局全体で協力し、計14回延べ79名の本市職員の派遣や、計3回延べ20名のヤンゴン市職員の研修受け入れを通じて、排水計画策定に関する技術指導を実施するとともに、モデル地区にお



現場での技術指導

いてヤンゴン市職員と共働で経済性・効率性を考慮した排水計画の策定を行った。

### 3. 事業の成果

技術指導にあたっては、効果的な浸水対策に必要な排水計画を策定できるヤンゴン市職員を、当初10名育成することを目標としていたが、座学だけでなく、ワークショップや現場実習による実践的な技術習得を図ったことで、目標を上回る14名が技術を習得した。

策定した排水計画に基づく対策のうち、早期の効果発現が期待できる湖への貯留については、ヤンゴン市が自ら整備を実施し、本事業期間内に供用を開始したことで、技術の移転という本事業の目標を超えて、浸水対策施設の整備という想定以上の成果が得られた。

また、官民連携による海外事業案件の受注や地場企業等のビジネス機会の創出を図るために設立している「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」の会員企業と連携し、浸水対策技術に関する講習や工場視察等を行うことで、地場企業等の海外ビジネス展開を支援するなど、地域の活性化を図った。

一方で、下水道整備も概成し、改築更新事業にシフトしてきている本市においては、海外技術者への技術指導やヤンゴン市での貴重な現場経験等を活用して、本市職員の技術向上、人材育成を図ることができた。



クロージングセミナーの開催

### 4. おわりに

本市とヤンゴン市は、本事業やこれまでの本市の取組みにより、平成28年12月に姉妹都市となっており、更なる友好関係強化や技術協力を進めている。

その中で、今年度より草の根技術協力の第2期事業を予定しており、これまで支援してきた排水計画策定の次のステップである排水機能改善に必要な施設の建設・維持管理に関する技術指導を行っていくこととしている。